

武豊町長 初山芳輝様

平成23年3月30日

日本共産党武豊町議員団

団長 梶田稔

東日本大震災と武豊町防災計画に関する申し入れ

東北地方太平洋沖地震への緊急支援にご尽力されておられることに敬意を表します。

今回の地震は、かつて経験したことのない巨大地震です。大きな揺れと津波による建物の倒壊、火災の発生などによる被災状況は、死者は1万1168人、行方不明者1万6407人（3月29日午後9時現在、警察庁まとめ）となり、また、57万人余りが避難所での厳しい生活を余儀なくされています。さらには、原子力発電所の爆発や被曝で、住民は空前の不安に襲われています。

すでに愛知県下の自治体は、救助・救援に消防や水道の職員を派遣し、義援金や救援物資を送るなどしています。災害の規模からみてさらに大規模な支援が必要と思われます。

また、東海地震・東南海地震の発生も危惧されており、住民を地震・津波や原発の災害から守るための対策を急いで推進することが求められています。

そこで、以下の点を申し入れます。

記

- 1、被災地への救助・救援に万全を期し、人的・物的な要請に積極的にこたえること。
- 2、道路・橋梁、上下水道、港湾施設などのインフラ復旧のために、被災地からの要請に応じて町の専門職員等を派遣すること。
- 3、「第2次武豊町地震対策アクションプラン（平成20年3月策定）」は、東北地方太平洋沖地震の被災をふまえ、抜本的に見直すこと。
- 4、知多湾の海岸堤防の耐震化（液状化対策や嵩上げ改修）を検討し、早急に実施すること。
また、水門・防潮扉などの開口部の老朽化対策を急ぐよう県当局へ強く要請すること。
- 5、想定東海地震の震源域の真上にある浜岡原発の運転停止、地震安全対策の抜本的見直しと万全の対策を中部電力(株)に申し入れること。
- 6、民間建物の耐震化対策の予算を大幅に増やすなど、防災対策を急速にすすめること。

以上